

21 世紀東アジア青少年大交流計画 JENESYS Programme インド国訪日団受け入れ行事 アンケート

2012 年 6 月

3 年 8 組 番 氏名

今回、みなさんの「国際性の育成」を目的に標記の行事を実施しました。英語の語学力を柱に、どんな力が伸びたのでしょうか。みなさんのさらなる成長と次年度からの取り組みのために、前年度末のポスター作成など事前準備から当日までを振り返ってみて、アンケートに協力願います。

以下の事項に関して、次のの数値（4～1、および9）のうち、あてはまる番号をカッコ内に記入してください。

他の取組と共通アンケートの文章であるため、内容は今回の行事（ポスター作成から当日まで）に当てはめて幅広く解釈してください。今回の行事に関係しない項目と判断したものは（ 9 ）と記入してください。

数値

- | | | | | | |
|---|-------------|---|---------------|---|------------|
| 4 | よく当てはまる | 3 | やや当てはまる | 2 | あまり当てはまらない |
| 1 | ほとんど当てはまらない | 9 | 該当する状況等はなかった。 | | |

1. 今回体験した分野の基礎知識や先行研究の知識は、わりと多かった。（ ）
2. 「事実」と「意見・考察」を区別しながら聞き取ったり理解したりできた。（ ）
3. この経験や知識に関して、自分にとっての「未知」（課題）を説明できる。（ ）
4. 上で思い浮かべた自らの課題に対して意欲的に努力することができる。（ ）
5. 今回の実習などで、問題点の関連から取り組む順序を考えることができた。（ ）
6. 実習では、例えばメモ・箇条書き・分類・図式化等を行うことによって、データの構造や規則性等を見い出すことができたと思う。（ ）
7. 分析や考察のために、適切な道具（機器やソフトウェア）を使うことができた。（ ）
8. 論理性を重視した形式の論文（やレポート）を作成できた。（ ）
9. 既得の、問題解決に関する理論や方法論に関する知識が役に立った。（ ）
10. 積極的にコミュニケーションをとることができた。（ ）
11. 発表会や協同学習・協同作業において、「責任」と「義務」が自覚できた。（ ）
12. 発表等の準備時に、必要な情報が抽出・整理された資料を作ることができた。（ ）
13. 発表等の時に、発表の効果を高める工夫ができた。（ ）
14. 疑問に思ふ内容を、質問を前提にまとめることができた。（ ）
15. 質問が生じたり、協議しなければならない場面で、発言を求めることができた。（ ）
16. 資料等の作成時に、論点になりそうなことの準備ができた。（ ）
17. 発表や質問に対して議論を進めることができた。（ ）

※この行事に参加して、8つの力について、どれだけ伸びたかを5段階で自己評価してください。

※根拠欄はすべて書く必要はなく、特に伸びた項目についてのみ記入し、あとは空欄でよろしい。

8つの力	数値評価	根拠となる事例、感じたこと、気がついたことなど
問題を発見する力		
未知の問題に 挑戦する力		
知識を統合して活 用する力		
問題を 解決する力		
交流する力		
発表する力		
質問する力		
議論する力		

評価 5 大きく伸びた 4 かなり伸びた 3 伸びた 2 少し伸びた 1 伸びなかった
[感想または来年以降の為に気づいたことなどあれば以下に書いてください]